

元気な合志産、消費拡大!!

吉永 健司 議員



吉永 12月定例会において、健康づくりや地産地消の重要性を問うた。その中で牛乳の消費拡大について、今後の検討課題と答弁された。

その後、各課の連携と協議がどのようになされているか。また、その方向性は。

産業振興部長 地産地消については安全で安心な本市の農畜産物を市民の方に消費してもらう意味からも制定する方向で検討したい。牛乳の消費拡大については、まず市民に対する消費拡大を啓発していくと共に市内中学校において生徒の健康づくりを目的に200ccから250ccに増量する方向で保護者の負担にならぬよう教育委員会と協議をおこなっている。まずは、飲み残しや食べ残しがないよう指導もお願いしている。

吉永 本市では待機児童について多くの論議がなされてきた。その解消として、市が保育所運営に関与していく事となる。将来、子どもの数が減少した場合、民間圧迫になりはしないか。対策は。

合志の明日

健康福祉部長 減少した場合は、現在の弾力運用からゆとりある適性保育、定員内保育に変わっていく。また、市としては、あくまで調整機能としての開所であり民間圧迫はしないよう配慮していく。



おいしい合志の牛乳!

休日開庁

西合志庁舎も

丸内三千代 議員



丸内 窓口延長業務から合志庁舎において休日開庁業務を開始したが、利用状況の中で行事と重なったときの駐車場がない等の声があるが対応策は。

ど機構改革の中で検討している。当面はこのままでいきたい。

市民部長 しっかりと駐車スペース確保したい。

丸内 息子、娘や孫の結婚相手を見つけて欲しい、出合いの場の提供を市役所でしてくれないでしょうか、相談されますが、行政として何か考えがありますか。

市民部長 日曜開庁業務を知らない市民もいるので、しっかりと市民に知らせていきたい。

市長 若者には、結婚することの良さをぜひ知ってもらいたいし、後押しをしていきたい。市としては予算を組んで市民と協力してネットワークしていきたい。

丸内 利用される方の交通手段は、自家用車94.2%の295人、タクシー1.6%の5人となっている。この数字からみて、車のない人は、合志庁舎でのサービスが利用し難い。車で来れない方々に対しては、公共交通のある西合志庁舎でも開庁すべきではないのでしょうか。合併時において市民のサービスは低下させないとしています。

丸内 県は結婚支援事業予算1400万円を計上した。市町村と連携して男女の出会いの場となる交流イベントなど紹介するサイトの開設団体への補助等情報の共有するなどとしているが活用して取り組むべきである。

市長 予算・人員の確保等の問題な

市長 県のサイトを一緒になって取り組みたい。

真の活力を生む多方面との連携を求める

上田 欣也 議員



上田 包括協定、連携協定について現在どういう相手と、どういう事柄について協定を結んでいるか、その目的、現状と課題について聞く。

仕事や学業、療養などで、実際の居住状況と異なる場合がある。

総務企画部長 学校関係では崇城大学、東海大学、熊本県立大学、熊本高専など、また肥後銀行とも協定を結んでいる。成果はレターパスのデザインの立案やバイオフォレストの推進、情報提供などに出ている。市民まつりなどを利用して情報提供にも努めている。

上田 調査結果はただの数字に過ぎないかもしれないが、市民一人ひとりが命あるものだとこのことを肝に銘じるべきときである。

上田 今回の国勢調査はスムーズに行われたか。この調査が市民にとってどう役立つか、また住民基本台帳との差異の理由は。

上田 調査結果はただの数字に過ぎないかもしれないが、市民一人ひとりが命あるものだとこのことを肝に銘じるべきときである。



総務企画部長 今回の調査は特に問題なく行われた。交付税など補助金の給付に国勢調査の数字が使われる。

市長 私は使途が正しいものであれば当然必要だと考えている。むしろ政務調査費を使い、議員の職務が評価されるような制度が必要ではないか。政調費について理解が深まるようになることが望ましいと思う。

上群中林線

改良事業を急げ

東 孝助 議員



東 辛川鹿本線における上庄・中林の中間地点から平島を結ぶ「中林・平島線道路改良事業」の進捗状況は。都市建設部長 竹迫、豊岡、上庄地区を囲む環状道路として、辻久保交差点の渋滞緩和や円滑な道路網形成の上で有益な道路整備であるとし、21年度に請願書が出され、検査及び概算額の算出等を実施。22年度には、県有地の市への移管を依頼している。23年度は、詳細設計費を当初予算案に計上している。「上群中林線改良事業」と名称を変更し、24・25年度までに用地を取得し、27年度までの事業としたい。

東 合志市の不登校児童・生徒は2021年度で5065人と聞いている。小中学生を見守る地域環境づくりが重要となる中、市の取り組みをお答え願いたい。

東 この事業は、合併特例債か。

教育部長 不登校問題は非常に大きな問題であり、教育委員会では21年度より新たに指導主事を配置し、対応強化を図っている。現在、不登校解消に向けた市小中学校いじめ不登校対策委員会と市適応指導員連絡会議も開催。実態把握等に努めている。また市幼保小中連携会議を通じて子どもの情報を共有するほか、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなど関係機関を活用した連携支援を強化している。学校、関係機関等との連携を密にしなが



上群中林線道路改良事業予定地

市長 補助事業と合併特例債を併せて活用する。

東 今後子どもたちのため、見守り体制の強化を図ってもらいたい。

東 早期整備を願う。併せて平島鹿水北線の路面が凸凹で自転車を通れないと意見が出ているので整備に取り組んでもらいたい。